

令和六年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、八ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。すべてに解答しなさい。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってははいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

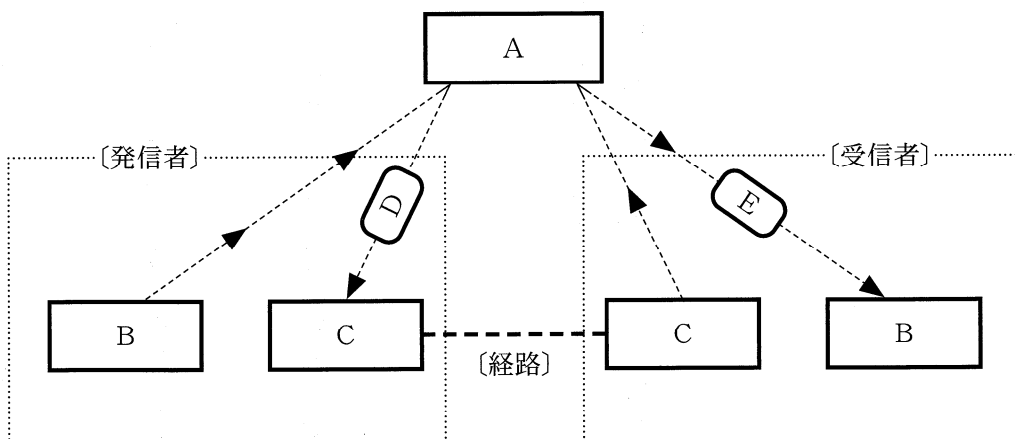
(池上嘉彦『記号論への招待』(一九八四)より一部改変)

問一 下の図は、本文の第三段落から第四段落の内容(「そこでコミュニケーションの

場合は」～「伝達内容を再構成する」まで)をもとに、コミュニケーションの方法について図示したものである。図中のA～Eに当てはまる最も適切な語句を、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

なお、BとCは二か所ずつあるが、同ジアルファベットには同じ記号が当てはまる。

- ア. メッセージ
- イ. 解読
- ウ. コード
- エ. 記号化
- オ. 伝達内容



問二 傍線部①「発信者と受信者との間に「経路」が完全につながっているということ」とは、どういうことか。本文の内容に即して説明しなさい。

問三 傍線部②について、「理想的」な伝達が成り立つ要件としてのコードの性質とは、どういうことか。本文の内容に即して、七〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線部③について、「理想的」なコミュニケーションと人間のコミュニケーションとは、それぞれどういうものか。本文の内容に即して、両者の違いが明確になるよう説明しなさい。

問五 傍線部④「不確定な要因」は、なぜ生じるのか。本文の内容に即して理由を述べなさい。

問六 傍線部⑤について、「コード依存型」あるいは「コンテキスト依存型」のどちらかを選び、どのようなコミュニケーションか説明しなさい。はじめに解答欄の「コード依存型」と「コンテキスト依存型」のどちらかを丸で囲んだ上で、本文にない具体例を挙げながら、二〇〇字以内で述べなさい。

二 次①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 賃貸の ケイヤク を結ぶ。
- ② 賛成の イコウ を表明する。
- ③ 加工を ホドコ す。
- ④ オリジナルを カイサイ する。
- ⑤ 経営体制を サツシン する。